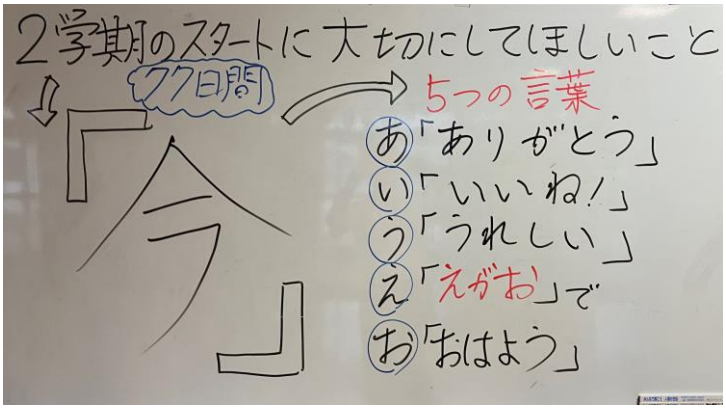
上越市立直江津小学校学校だより　　令和４年度　第４号　通算第２８０号

ジェームス・ダン

（ジェームス・ダンは、直江津小学校校歌の作曲者です）　令和４年９月２１日

『今』を大切に生きる！

子ども達の元気な声が校舎に戻り、２学期が始まりました。始業式では、子ども達に次のような話をしました。それは**「今」を大切に生きるということです。**なぜなら、過去は変わりませんし、未来はどうなるかわかりません。ですから「今」という一日一日を大切に生きることが大事だと話しました。それでは「今」を大切にするにはどうしたらよいでしょうか？。少し考えてもらってから、今を大切にする「あいうえお」として５つの言葉をホワイトボードに示しました。（右下　写真）



『まず、「ありがとう」という言葉は当たり前にあるのでなく、有難いということなので感謝の気持ちにつながります。「いいね」という言葉には、自分も相手も肯定する気持ちが入ります。「うれしい」とい言葉を使うと自然と自分の心が元気になります。「え」を飛ばして「おはよう」という言葉には、かけがえのない一日が始まるという心のスイッチがお互いに入ります。そして、それらの言葉を「笑顔（えがお）」で言うと効果倍増です。』そんな話を子ども達にしながら、２学期の７７日間、一日一日「今」を積み重ねて一人一人が成長できることを心から期待しています。依然、コロナ禍ですが、保護者、地域の皆様にとっても毎日が充実したものであることを願いながら、私も子ども達と共に成長する２学期にしたいと密かに思っています。

校長　長谷川明寿

生き生き学ぶ 直小っ子

２頭のアルパカさんが入学してきました。とってもかわいい２頭です。子供たちは大喜びです。入学式では、自分の役割を全うし、立派に式を行うことができました。アルパカ牧場の方や、相村建設の相澤社長さんから話を聞き、「がんばって飼うぞ！」という気持ちが高まったようです。最後のなでなでタイムでは、「怖い！」と言っていた子もおそるおそるではありますが、なでている姿も見られました。無理に近づかなくてもいいです。少しずつ慣れていくと思います

９月５日（月）と６日（火）に、秋野菜に向けて畑の片づけをしました。「先生オクラが抜けません！」「うあー！！」と苦戦しつつ、根の周りを掘ったり、友達と協力したりと頑張りました。学校支援プロジェクトで手伝いに入ってくださっている大学院生の先生方や、いつもお世話になっている峰村先生にも手伝っていただき、畑がきれいになりました。秋野菜はまず、大根を育てます。ほかに個人用に野菜を育てる予定です。

子どもたちは久しぶりの三八市にもかかわらず、お店の人たちとのコミュニケーションを楽しんでいました。２学期のスタートとなる活動の目的は、「１学期の出店での売上金を使って、お家の人にサプライズのお買い物をしよう」というものでした。普段のお遣いとは違い、相手のことを考えながら、相手の喜ぶものを品定めしている子どもたちが多くいました。

天候が心配されましたが、無事に親子活動を行うことができました。親子で釣りをしながら、会話を楽しんだり、普段では味わえない体験をしたりと有意義な時間を過ごしました。この日を迎える前には、講師の星野さんから餌の付け方、竿の投げ方等を丁寧に教えていただきました。調理にも挑戦して美味しく魚をいただきました。思い出に残る充実した時間を過ごしました。

講師に土肥菓子店さんの職人さんとスタッフさんを招いて和菓子作りに挑戦しました。土肥さんは、尊敬する先生に出会い、あんこの魅力にとりこになり、菓子職人を目指したと話してくださいました。また、和菓子と洋菓子の違いなど、子どもたちの興味をたくさん引き出すお話でした。そして、和菓子作りの実演、実際にどら焼きを焼いてみるなどの活動に入りました。貴重な体験ができました。機会があれば、上生菓子にも挑戦したいと考えています。

一泊二日の佐渡への修学旅行。天候にも恵まれ、子どもたちは、佐渡ならではの活動や初めてのことをたくさん体験してきました。また、一人一台のカメラをもち、修学旅行の思い出の風景や物などを撮りためていました。この修学旅行を通して、佐渡の自然、歴史を学び、直江津との違いを感じたり、人の思いを学んだりすることができました。この経験をぜひ、今後の学校生活に生かして頑張ってほしいです。

新しい ALT の紹介

2 学期から新しい ALT の先生がやってきました。

Gutt Kendall Rubicon（ガット　ケンダル　ルビコン）通称　Rubi（ルビ）先生です。アメリカ合衆国のアリゾナ州出身です。

直江津小学校には、毎週木曜日に来校されます。どうぞ、よろしくお願いします。

ぜひ、見てください！！

校長室前の掲示板
～イングリッシュボード～

教育実習生と学校支援プロジェクトの大学院生の紹介

上越教育大学の教育実習生 2 名と学校支援プロジェクトの赤坂研究室の院生 5 名が 2 学期（9 月 1 日）から入っています。子どもたちと一緒に活動をしながら見守りや支援をしていただいています。また、先生方への研修や研究にも積極的に参加していただき、協働しながらより良い指導について学び合っています。

すべては直江津小学校の子どもたちのために。どうぞよろしくお願いします。

先生たちも頑張っています！直小ミーティング

直江津小学校では、教職員が様々な意見を出し合い、全員が学校づくりに参画する共同体づくりを目指す「直小ミーティング」を行っています。9 月 5 日、本年度 5 回目となるミーティングは「一人一人の成長につながる持久走大会にするにはどうしたらよいか」をテーマに話し合いました。直江津小学校の子どもたちのために知恵を出し合いながら、様々なことについて見直したり、新たなことを取り入れたりしています。直江津小学校の教職員は、普段からコミュニケーションを大事にしています。

9 月 5 日は、教育研究家の妹尾昌俊さんが直小ミーティングの見学に訪れ、講話もしていただきました。妹尾さんは全国各地の学校や行政で講演、研修を行い、著書やメディア出演も多い方です。今回は上越教育大学大学院の赤坂真二教授を通して関心を持ち、見学と講話をする運びとなりました。妹尾さんは、直小ミーティングを見て「すごく良かった。みんながよく笑っていることがいい」と感想を述べていました。講話では、チームワーキングの大切さについて話をしていただきました。

あったかメッセージ大募集！！

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様からは、子どもたちを温かく見守っていただいていていることに感謝申し上げます。昨年度に引き続き、保護者、地域の皆様からのメッセージを、子どもたちにダイレクトに届けたい、そして、たくさんの人から温かく見守ってもらっていることを子どもたちに感じてもらいたいという願いのもと、「あったかメッセージ」を募ります。

持久走大会や汐なり文化祭、授業参観の様子をご覧いただき、子どもたちのがんばる姿や、感動した姿などぜひ、メッセージカードに書いてください。カードは事前にお配りする予定です。学校では、行事ごとにもカードを準備しておきますのでご記入をお願いいたします。カードは掲示して、子どもたちがいつでも見られるようにします。子どもたちが、多くの方の温かな思いに包まれて成長していけるよう、ぜひメッセージをお願いいたします。

10月29日(土)は　汐なり文化祭・150周年記念ベヒシュタインコンサートです！！

今年度は、汐なり文化祭と１５０周年記念ベヒシュタインコンサートをセットで行います。

午前中の汐なり文化祭には、子どもたちの図工作品や家庭科作品の展示とＰＴＡの皆様による「お祭りコーナー」を実施します。例年行っていました、汐なり市（一品販売）や地域作品展は、今年も行いません。また、食券もお土産のお菓子の前売りのみになります。

昼食をはさんで、『１５０周年記念ベヒシュタインコンサート』となります。多くの皆様からのご参加と密を避けながらの開催を考え、２部制のコンサートにさせていただきます。

ピアニストの末永　匡（すえなが　ただし）さんは、「貴校の生徒たち先生方をはじめ、全ての関係者にとって良き時間になることを願っています。」と演奏を楽しみにしているようです。当日は、校歌の伴奏もしていただきます。プロのピアニストの伴奏も楽しみにしてほしいと思います。

地域の方は、事前の申し込みが必要となります。申込方法については案内文書をご覧ください。

主な行事予定

【１０月】

５日（水）市親善陸上大会
　　直中学校区あいさつ運動（～７日）
７日（金）持久走記録会、PTA 実行委員会
１２日（水）中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会
１４日（金）学校運営協議会
１８日（火）就学児健康診断
１９日（水）全校集会、環境整備作業
２０日（木）環境整備作業
２６日（水）全校朝会、SST
２９日（土）汐なり文化祭
　　１５０周年記念ベヒシュタインコンサート
３１日（月）文化祭代休